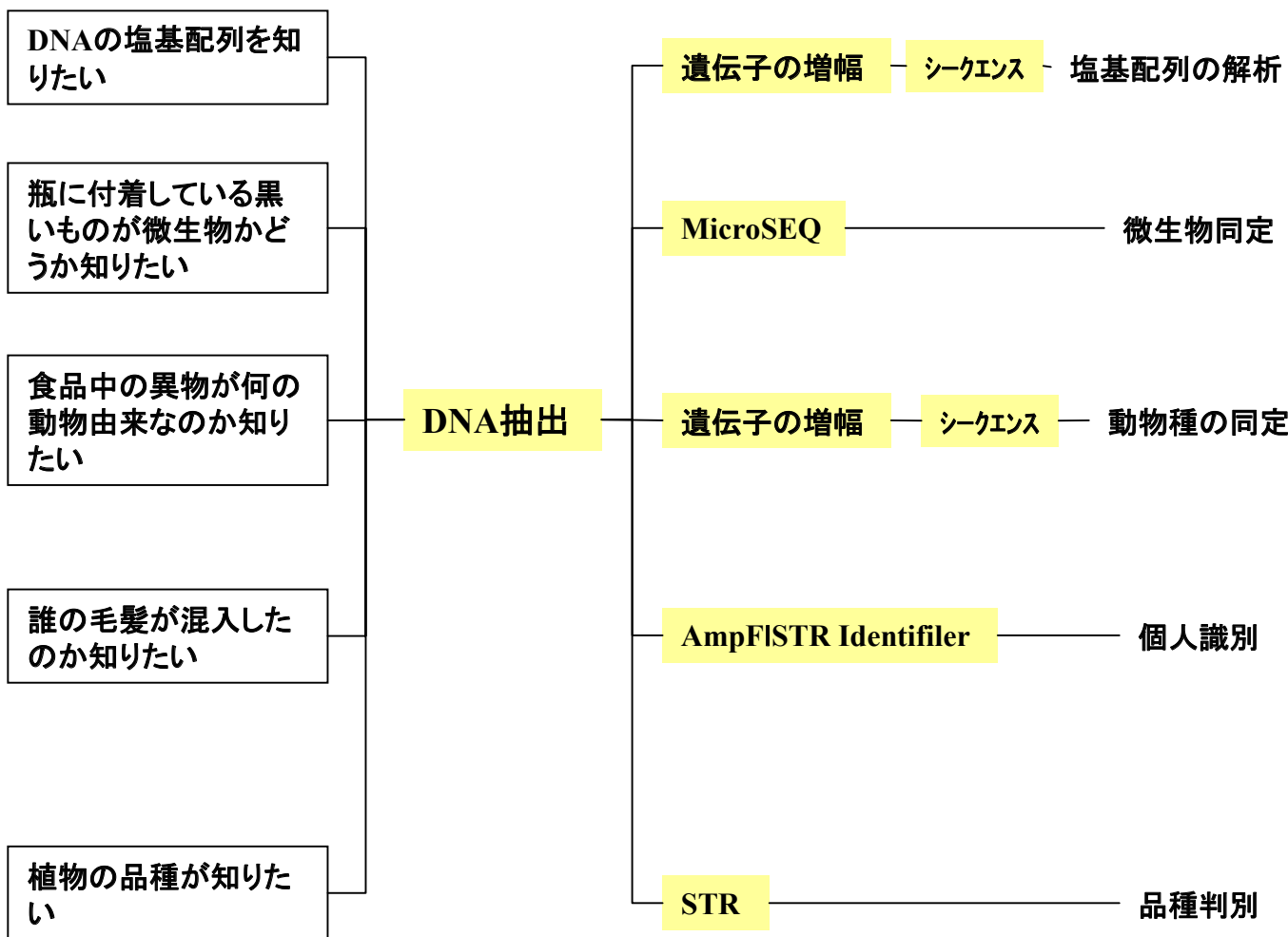


遺伝子解析受託サービス

近年、遺伝子解析技術が急速に進歩し、異物検査などで異物の遺伝子情報を把握した上で、クレーム対応や製造工程の改善に役立てるようになって参りました。また、食品等を対象とする遺伝子検査においても、昨今の食品偽装問題により、その需要が急速に高まっております。そこで、当事業所では新たに下記の遺伝子解析受託サービスを開始致しました。

分析目的

分析方法



分析対象試料、分析目的に応じて各種の分析方法が必要となる場合があります。ぜひ、お気軽にご相談をお願い致します。

1. 受託シーケンス

- ・目的遺伝子をPCR法により増幅し、PCR増幅産物から直接、サイクルシーケンス法により、4色蛍光物質を使用するダイターミネーター法を用いて塩基配列を解析
- ・600bpまでの解析

2. 微生物同定

- ・細菌では、MiicroSEQキットを用いて、16S rDNAの約500bpの塩基配列を解析し、微生物のデータベースライブラリーより、細菌の同定を行う。
- ・真菌では、MiicroSEQキットを用いて、D2領域の約300bpの塩基配列を解析し、微生物のデータベースライブラリーより、真菌の同定を行う。

3. 動物種判別

- ・動物種判別用プライマーを用いて、特定の遺伝子領域をPCR法により増幅し、PCR増幅産物の塩基配列を解析し、データベースライブラリーより、動物種の同定を行う。

4. 個人識別

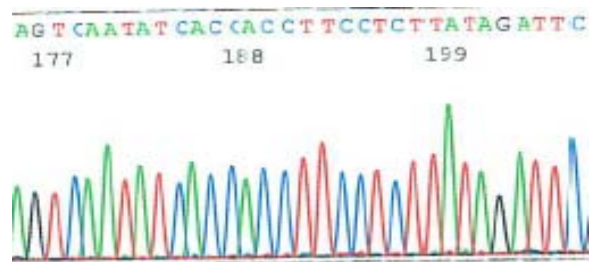
- ・AmpFI STR Identifilerキットを用いて、15のSTR遺伝子座とAmelogeninを同時に増幅し、個人識別を行う。

5. 植物の品種判別

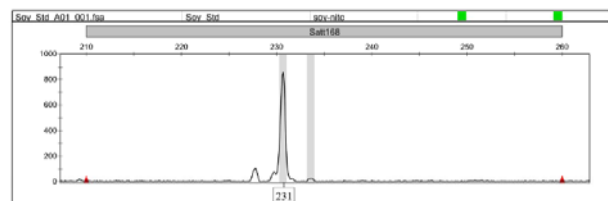
- ・植物種判別用プライマーを用いて、特定の遺伝子領域をPCR法により増幅し、PCR増幅産物の塩基配列を解析し、データベースライブラリーより、植物種の同定を行う。



ABI 3130 GeneticAnalyzer



シーケンス解析例



フラグメント解析例